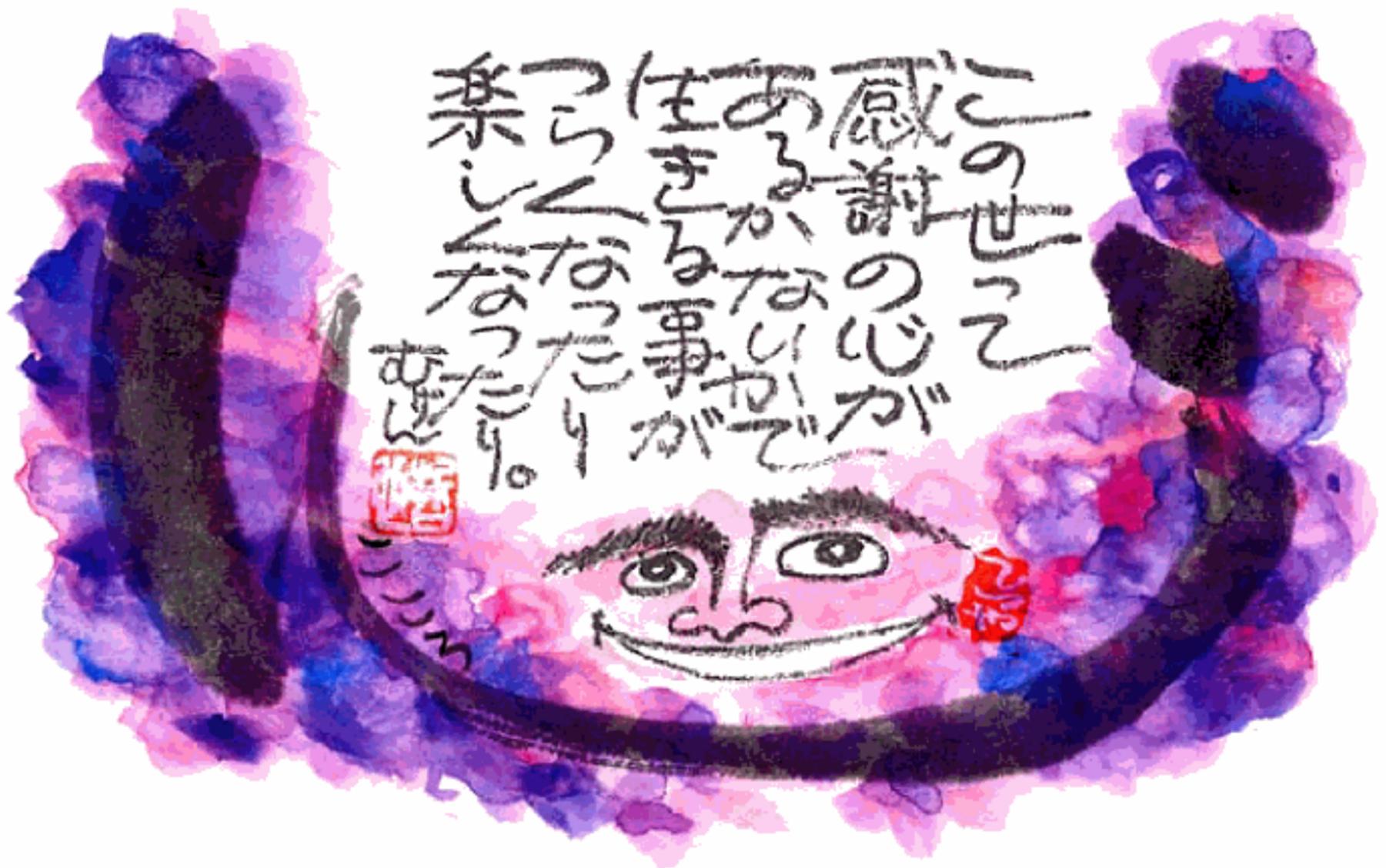


## A News Letter of Woody-Akiba

住む人の幸せつくる 住まいのニュースレター Akiba



ごあいさつ

秋です、野山は紅葉し、郷愁の思いにかられる季節となりました。皆様お元気にお過ごしですか？今月は本紙とは別にむげん先生からのごあいさつをいれた特別号を作成しました。是非、そちらもご覧下さい。

先月末のこと、未完成ではありましたが、山崎様のご厚意で見学会を開催させていただきました。当初は、新聞折込もなく案内チラシを配布しただけなので、数人でも来ていただければ、と思っていました。ところが蓋を開けてビックリ、予想をはるかに上回る数の皆様にご来場をいただきました。山崎様ご家族、高野デザインプロデュースの高野先生、高松所員、そして噂をききつけてご来場いただきました方どうもありがとうございました。

住まいをつくる工事を指揮する立場にある私は、可能な限り品質をよくして、お住まいになるご家族が暮らしやすくすることが一番の仕事と考えています。たまにはデザインと使い勝手が相反するものだったり、もしもの時にメンテナンスや修理に難があったりこともあり、私にも葛藤があります。施工法や、材料を決定する際の判断基準は、まず耐久性に問題がないこと、そして作業に無理がなく一般的な道具で修理が可能であること、です。長い年数に渡って住んでいただくためには大切なことだと思います。

私は無口で、必要なことしか話さないため、いつもお客様には十分な説明ができないでいます。なんとかその不足を補いたいと思っているのですが、それがなかなかできません。家庭でも「もっと話をしないとどういう意味なのか理解できない。」といわれています。とはいえそう簡単には直らず、やっぱり説明不足になるです。おそらく、お客様にはもっとわからないことだらけではないのか・・・と反省しています。工事の過程でも、完成にあたっては尚更もっと正確に、わかりやすく伝えなければならぬことがあるのに、短い言葉の連続で終わらせてしまっているような気がします。口数が少ないことでどなたかに不快感を与えたり、ご迷惑をお掛けしているかもしれません。その点どうか、お許しください。

秋は名前の通り大好きな季節です。あざやかな美しい自然の中へ出かけていきたい！ですね（秋葉）

木と漆喰でできた本物志向の家



素敵なおばあちゃんの住む小住宅



上 高野先生が設計デザインした山崎邸が完成しました。白と木材を塗装した黒のコントラストが日本の伝統美を奏でています。ご見学いただいた方のご紹介です。「ビックリ！した。想像していた以上の建物です。」(50代男性)「久しぶりに本物を見せいただきました。」(50代男性)「すごくいいけど・・高いんでしょうね？」(60代女性)「とても気に入っています。毎月のNレターを楽しみにしています。」(30代女性)「老後はこういう家に住みたいと思っているんですよ。(60代男性)。二世帯そろってのご来場が多く、嬉しく感じました。

右 こちらは素敵なおばあちゃん(これとはとても失礼!)が住む小さな住まいです。私にお任せいただいたので仕様は無垢材、床は杉の木、建具まで杉板を貼ってあります。少しでも快適に、健康にお住まいいただければと思いを込めて・・。

発行者 ご連絡先 秋葉建設 秋葉 忠夫  
〒289-2163 八日市場市南神崎52-1  
電話0479-72-0814 FAX0479-72-0824  
Eメール master@woody-akiba.com  
HP URL <http://woody-akiba.com/>  
(財)住宅産業研修財団・優良工務店の会QBC会員。財団では職人の技能を伝えるため、「大工塾」を創設しました。  
次号も読んであげてもいいよ!と思った方、ご住所・お名前・Eメールアドレスを教えてください。ご連絡をお待ちしていますよー。  
表紙むげん先生の絵詩はコピー・配布が自由です。よろしければ是非、お友達にあげてください。